



Nihon Clinic  
日本クリニック  
PRESENTS

# 健康ニュースレター

MONTHLY NEWS LETTER for HEALTH



今月のテーマはこちら

## 带状疱疹

2017



文責：家庭医・内科・小児科 松本幸二郎 M.D., Ph.D.

### どういう病気？

带状疱疹とは水ぼうそうを起こすウイルスと同じ水疱(すいとう)・带状疱疹ウイルスが原因の痛みを伴う発疹です。水ぼうそうは多くの子供の頃にかかりますが、ウイルスが消滅したわけではなく、神経の中に隠れてしまい、長い場合は何十年も潜伏し続けます。病気、疲れなどで免疫作用が低下すると発病すると言われています。発病者は子供も含め幅広く見られますが、50歳以上の方に多く見られます。

### どんな症状？

**1** 赤い発疹があらわれる数日前から皮膚にチクチク、あるいはピリピリしたような痛みが起ることから始まります。

**2** 痛みを感じた場所にブツブツとした赤い発疹ができ、小さな水ぶくれとなって帯状に広がりますが、体の左右どちらか片側だけに生じます。

胸、背中、腹部にできることが多いですが、手足にできることもあります。また、顔、耳や目の周囲にできた場合は、顔面神経麻痺、難聴、角膜炎、脳炎を起こすことが稀にありますので要注意です。

### 治療法は？

抗ウイルス剤の飲み薬があります。ポイントは、とにかく早めに薬を開始することで、遅くとも3日以内に開始した方がよいと言われています。皮膚にチクチク、ピリピリした痛みが出てきて带状疱疹かもと思ったら、赤い発疹が出てくる前でもいいのでとにかく早めに受診しましょう。治療が遅れると、その後、右記の合併症に悩まされ続ける場合があります。



### 合併症は？

一番多いのが湿疹が消えた後に残る神経痛です。これは誰でもなる可能性はありますが、60歳以上の方に多く見られます。

この带状疱疹後の痛みの治療はなかなか難しく、長期に渡って続きます。また、上述のように顔周りにできた場合は、顔面神経麻痺、難聴、角膜炎、脳炎を起こすことが稀にあります。したがって合併症の予防のためにも、疑わしい場合は早めに受診することがポイントになります。



毎年、10、11、12月と年末にかけて人間ドックの予約が非常に混み合います。夏や秋の間の早めのご予約をお勧め致します。

Nihon Clinic  
日本クリニック

CHICAGO

SAN DIEGO

2010 S. Arlington Heights Rd.  
Suite 101 Arlington Heights, IL 60005

予約 847.952.8910

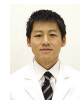
小児科 847.640.5437

内科 847.758.8080

カイロ科 847.956.3250

✉ [chicago@nihonclinic.com](mailto:chicago@nihonclinic.com)

- 一般外来診療・内科・小児科・青年科・整形外科・カイロ科
- 人間ドック(ほぼ全検査項目を当院内で受診できます)
- 脳ドック(頭部 MRI、頭部 MRA、頸動脈エコー)
- 各種検査、手術、入院の手配 ● 胃内視鏡検査
- 検診・予防接種(乳幼児・小中高大学/日米用報告書作成)
- マッサージ、エステ ● カウンセリング



四方, M.D.  
内科



松本, M.D., Ph.D.  
家庭医学科/  
小児科・内科



川又, D.C.  
カイロプラティック科



黄, M.D.  
整形外科



栗原, LCSW  
心理カウンセリング



高崎, L.M.T.  
マッサージ

[www.nihonclinic.com](http://www.nihonclinic.com)